

研究ノート

第33回ナフダトゥル・ウラマー全国大会

—総裁選出方法をめぐる対立—

小林 寧子*

The 33rd Congress of the Nahdlatul Ulama:
Conflicts over the Rais Aam Selection Method

KOBAYASHI Yasuko*

The Nahdlatul Ulama (Revival of the Religious Scholars: NU), the largest Muslim association in Indonesia, held its national congress (*muktamar*) in early August 2015 in its birthplace, Jombang, East Java. It was rather turbulent and chaotic, and almost all energy was devoted to the AHWA (*ahlul hali wal aqdi*) problem, the question of how to elect the supreme leader (*rais aam*). AHWA is a team of respected ulama with powers to decide on important matters. Since 1989 (the 29th congress), a voting system had been applied to choose the two top leaders, *rais aam* and *ketua umum* (chair of the central executive board). However, a proposal was made to introduce AHWA as a new system for the *rais aam* election in order to avoid slander and vote buying. This proposal caused furious opposition in many local branches. Behind this problem, there was a conflict between the incumbent chair Said Aqil Siroj and the former chair Hasyim Muzadi. Said's group tried to introduce the AHWA system in order to stop Hasyim becoming *rais aam*. Besides this internal power struggle, external interference played a part. The central board led by Said had poor communication with local branch elites, many of whom still supported Hasyim. The congress was disordered from the outset and faced deadlock. In the midst of the crisis, senior ulama elaborated a solution that could be accepted by both sides. The acting *rais aam*, Gus Mus, gave an impassioned speech that changed the course of the congress, and the AHWA chose Gus Mus as *rais aam*. However, he declined the position, stating that the AHWA system was made just as a tool by one of the competing groups. By doing so, he showed the moral of the ulama and reasserted the weakened presence of senior ulama.

* 南山大学外国語学部, Faculty of Foreign Studies, Nanzan University
2015年9月7日受付, 2015年11月6日受理

1. はじめに

インドネシア最大のイスラーム団体、ナフダトゥル・ウラマー (Nahdlatul Ulama ウラマー〈イスラーム学者〉の覚醒、以下 NU と略) の第 33 回全国大会 (Muktamar) が、東部ジャワ州の小都市ジョンバン (Jombang) で、2015 年 8 月 1 日 -5 日に開催された。「イスラーム・ヌサンタラ (Islam Nusantara)」(インドネシア的なイスラーム)¹⁾ をスローガンに掲げ、土地の文化に寛容なイスラームのあり方を世界に向けて発信したいという意気込みをみせた。しかし、大会ではこのコンセプトについてはほとんど話されることはなく、総裁選出方法問題に会議のエネルギーの大半が費やされた。同時期に、国内第 2 のイスラーム団体ムハマディヤ (Muhammadiyah) の全国大会もマカッサル (Makassar, スラウェシ島) で開催されたが、メディアでは「NU は騒然、ムハマディヤは整然」[*Jawa Pos*, Agustus 3, 2015] と対照的に報道された。²⁾ 激しい内部対立が公に晒された NU 関係者にとっては苦い教訓を遺す大会となった。

筆者はこの NU 大会を見学する機会を得た。大会の様子を述べるとともに、主に大会現場の見聞やインタビュー、さらに大会前後に閲覧した新聞・雑誌、インターネット³⁾ から得た情報を総合して、大会で対立の争点となった総裁選出方法問題について論じ、そこから見える NU が抱える問題を考察する。

1998 年の民主化後のインドネシアでは、草の根に地盤を有する NU やムハマディヤは市民社会の土台と認識されるようになった。しかも、政党が社会の信頼を築けない中、このような主流の宗教社会団体は、人々の声を政府に伝えるチャンネルを有すると考えられている [Kompass, Agustus 4, 2015]。NU はとかく政治との関わりで論じられがちであるが、まずは NU の中で何が起きているのか、その人々の思考論理に従って考えたい。⁴⁾

なお、本稿の議論の中心となる NU の組織問題、指導部選挙のあり方については、すでに第 32 回全国大会 (マカッサルで 2010 年 3 月に開催) での見学をもとに論じた [小林 2014]。本稿では NU の組織に関する説明は簡潔にとどめるので、詳しくはその論考を参照されたい。

1) nusa は「島」、antara は「～の間」を意味し、Nusantara は「群島」「島嶼」を意味するが、インドネシアの別称としてよく使われる。

2) 2 つの全国大会はメディアの関心を集めた。特に NU の大会会場近くに開設されたメディアセンターには 213 人の報道関係者が登録された [Jawa Pos, Agustus 3, 2015]。

3) NU 自身がどのように記録しているのかは、NU の公式サイト、NU Online (www.nu.or.id) に多くを頼った。すべての記事は PDF 化されているので、以下、NU Online からの引用は、サイトアドレスを省略し、掲載日と閲覧日を記すにとどめる。

4) この大会についてはすでにオーストラリア人研究者による速報エッセイ [Fealy 2015] があるが、政党と NU との関係に焦点が置かれているために、NU 内の動態はわかりにくい。

2. 第33回全国大会の背景

2.1 二重指導体制とマカッサル大会

NUは、1926年に寄宿制イスラーム教育機関のプサントレン (*pesantren*) を主宰するキヤイ (*kyai*) を中核として、スラバヤで結成された。キヤイ/ウラマーとその影響下にあるウマット (*ummat* 一般信徒) から構成されるが、組織的な拘束力はない社会/集団 (*komunitas*) とみられている。NUの強みは文化的につながれていることだとされる [Aminudin 2015]。⁵⁾ NUはウラマー間の法学検討が軸となる活動であるために、外部からその動きはみえにくく、ムハマディヤのような教育や社会福祉分野などでの体系的組織活動に乏しい。それゆえに、5年に1度開催される全国大会は、NUの動向を知る重要な機会である。

NUは結成以来、二重指導体制をとっている。中央から村レベルまで、指導部は、学識あるウラマーが席を置く政策決定機関のシュリア (Syuriah 宗教評議会) と、組織運営の実務を担当するタンフィズィア (Tanfidziah 執行部) から構成される。シュリア長はロイス (*rais* 会長)、⁶⁾ タンフィズィア長はクトゥア (*ketua* 委員長) であり、特に中央役員会 (Pengurus Besar Nahdlatul Ulama, PBNU) では、それぞれ総裁 (Rais Aam)、議長 (Ketua Umum) である。総裁が最高指導者であるが、議長がジャカルタで組織運営の指揮をとり、組織を代表して発言することが多い。大統領になったNU指導者のアブドゥルラフマン・ワヒド (Abdurrahman Wahid, 1940～2009：以下通称のグス・ドゥル Gus Dur で記す)⁷⁾ も、実は総裁ではなくて議長だった。歴代の総裁は地方の農村部で主宰するプサントレンにすることが多く、ジャカルタにはたまにしか現れず、外部者には総裁の存在はあまり認識されない。しかし、NUがウラマーを中核とする団体であることを体現する存在であり、総裁にはウラマーとしての学問の高さが求められる。つまり、古典文献に基づいて議論する能力である。総裁と議長の関係は、キヤイとルラ・ポンドック (*lurah pondok* 寮長) を務めるシニアのサントリ (*santri* プサントレンの生徒) との関係に匹敵すると理解されてきた。

全国大会の大きなアジェンダは、最終日に行なわれる総裁と議長の選出であるが、1989年第28回大会以来、投票方式が採用されている。総裁選挙には、州支部 (Pengurus Wilayah NU, PWNU) と県支部 (Pengurus Cabang NU, PCNU)⁸⁾ のそれぞれのシュリア代表、同じよ

5) 最近の調査では、NU成員はインドネシア人口 (現在約2億5千万人) の36.5%、8,400万人に達するという結果が出ている [Kompas, Juli 28, 2015, Agustus 8, 2015]。しかし、5年前には4,000万人と報じられており、実数を表しているとは考えにくい。ただし、多くのムスリムがNUに親近感をもっていると解釈できる。

6) *rais* は *rois* と表記されることも多い。このようなアラビア語借用語は表記が複数散見されるが、本稿ではNU Onlineにある表記を優先させる。

7) 本稿では「グス (Gus)」と呼ばれるNU関係者が多く登場するが、これはキヤイの息子を指す。NUはグスたちが活躍する場である。

8) 厳密には、県 (*kabupaten*) と市 (*kota*) の支部である。この他に2000年代に新しく海外支部 (Pengurus Cabang Istimewa, PCI) が創設され、大会時点では20支部が執行部に認められている。

うに議長選挙にはタンフィズィア代表が票を投じる。なお、州支部と県支部は同等の一票となる。全国大会の前には、各州では投票に関する意思統一を図るようだが、州支部の意向に沿わない県支部も多く、また大会期間中には数々の説得工作が行なわれる。通常、議長選では候補者同士の激しい競争が展開されるのに対し、総裁選はほぼ「出来レース」で行なわれた。総裁選出に際してはウラマーの権威が損なわれないように配慮がなされ、総裁就任は、強く要請されたので謹んでそれを受け入れるという形がとられた。

しかし、前回のマカッサル大会では、先に述べた NU 内の伝統規範を破る事態が起きた。総裁選で当時現職の議長ハシム・ムザディ (Hasyim Muzadi, 1944～) が現職総裁サハル・マフッズ (Sahal Mahfudh, 1937～2014) に挑んだのである。⁹⁾ ハシムは行政手腕のある組織活動家で、1999 年議長の就任後に新しいシステムを導入して組織運営の効率化を図るとともに、精神的に地方支部を巡回して地方幹部の支持をとりつけた。同時に政治的野心を露わにし、実践政治に深く関与した。一方サハルは、イスラーム法学の泰斗として尊敬されていたが、高齢で自らのプサントレンのあるパティ (Pati, 中部ジャワ) の村にすることが多く、発言も少なかった。ハシムが議長を務めた 10 年間にシユリアの存在感は薄れた。

マカッサルでの総裁選は NU 内を緊張させた。長老ウラマーの権威を守ろうとするキヤイ、NU 幹部の政治関与を批判する若手活動家、ハシムの勢力を削ぎたい政治家が反ハシムで連合し、これに外部勢力 (大統領府) も加勢した。収賄工作やメディアも巻き込んだ熾烈な多数派工作の中、ハシムは逆転されて敗北した。しかし、このような争奪戦形式で総裁を選出するべきではなく、NU に相応しい方法をとるべきだという声もあがり始めた。一方、議長選も激しい争奪戦が行なわれたが、投票による選出方法は問題にされなかった。

敗北したハシムにとってさらに打撃だったのは、大会後の中央役員会編成でも周縁化されたことである。ハシムはシユリアの単なる一員として遇され、次期総裁の可能性が高い副総裁にはムストファ・ビスリ (Mustofa Bisri, 1944～: 以下、通称のグス・ムス Gus Mus で記す) が就任した。グス・ムスは、早くから政治に傾斜するハシムを批判しており、マカッサル大会中も総裁職は奪い合うものではないというメッセージを繰り返し発信した (グス・ムスについては後に詳述)。前回大会では、総裁は学問の高いウラマーであることがその要件であるという NU 成員の意志が示された。ハシムは、行政能力はあっても、その宗教知識には疑問がもたれていた。また、ハシムの過度の政治関与は総裁には相応しくないだけでなく、NU 大衆には利益をもたらさないと認識された。しかし、すでに病気がちなサハルには組織運営の指導は期待できず、さらに議長の役割が大きくなることになった。

9) ハシムは「総裁に立候補する」と自ら明言することは避けたが、各地でハシムを総裁に推す集會に出席していた。

表 1 NU 指導者年表

総裁	議長
1. ハシム・アシュアリ (Hasyim Asy'ari) 1926.1~1947.7	1. ハッサン・ギボ (Hasan Gipo) 1926.1~1929
	2. アフマッド・ノル (Achmad Nor) 1929~1936
	3. マフッズ・シディック (Machfudz Siddiq) 1937.3~1944.1
	4. ナフラウィ・トヒル (Nahrawi Thohir) 1944~1951
2. ワハブ・ハスブッラ (Wahab Hasbullah) 1947~1971.12	5. ワヒド・ハシム (Wahid Hasyim) 1952~1953.4
	6. ダフラン (Dahlan) 1953~1956
	7. イドハム・ハリド (Idcham Chalid) 1956.12~1984.12
3. ビスリ・シヤンスリ (Bisri Syansuri) 1972~1980.4	
4. アリ・マクスム (Ali Maksum) 1981.11~1984.12	
5. アフマッド・シディック (Achmad Siddiq) 1984.12~1991.1	8. アブドゥルラフマン・ワヒド (Abdurrahman Wahid) 1984.12~1999.10
6. アリ・ヤフィ (Ali Yafie) 1991.1~1992.1 (総裁代行)	
7. イリヤス・ルヒヤット (Ilyas Ruhiyat) 1992.1~1994.12 (総裁代行) 1994.12~1999.10	
8. サハル・マフッズ (Sahal Mahfudh) 1999.11~2014.1	9. ハシム・ムザディ (Hasyim Muzadi) 1999.11~2010.3
	10. サイド・アキル・シロジ (Said Aqil Siroj) 2010.3~
9. ムストファ・ビスリ (Mustofa Bisri) 2014.1~2015.8 (総裁代行)	

注 1) 就任あるいは任期終了の年月に関しては明確なものだけを記した。

注 2) ハシム・アシュアリのみ、総裁職は Rais Akbar である。

出所：Soeleiman Fadeli dan Muhammad Subhan [2007: 102-103]

2.2 NU と政治

マカッサルで議長に選出されたのはサイド・アキル・シロジ (Said Aqil Siroj, 1953~) であった。サイドはサウジアラビアのウナム・アル・クラ大学で博士号を取得した神学者で、現在の NU を代表するウラマーのひとりである。1999 年第 31 回大会の議長選でハシムに敗れて以来、次の機会を待っていた。サイドは就任後に、ハシム時代に NU 内で疎外されていた「リベラル派」¹⁰⁾の活動家を何人も中央役員会に登用したが、組織経験のあるハシム側から

の人材登用は乏しかった。これもハシム派との溝が埋まらない原因となった。サハルは2014年1月に没し、グス・ムスが「総裁代行 (Pejabat Rais Aam)」となって次の大会までをつなぐことになった。

折しも2014年のインドネシアは選挙の季節で、総選挙(4月)と大統領選(7月)が行なわれた。各政党関係者や大統領候補者(プラボウォ・スビアント、ジョコ・ウィドド〈現大統領〉)は、頻繁にプサントレンやNU指導者を表敬訪問したが、グス・ムスとサイドにとっては、NU指導者が中立的態度を示せるのかの試金石となる機会であった。グス・ムスは政治家の表敬訪問は受け入れたが、支持を匂わせるような発言は避けた。¹¹⁾ それと対照的に、サイドはNUと関係の強い民族覚醒党(Partai Kebangkitan Bangsa, 以下PKBと略)¹²⁾のTV選挙キャンペーンで「PKBはNUの政党だ」と宣伝に一役買った。グス・ムスは「それほどまでに政治利用されて、議長はナイーブだ」と苦言を呈した。¹³⁾ にもかかわらず、大統領選ではサイドは「NUの人々は自由に候補者を選べる、しかし私は個人的にはプラボウォを支持する」と明言して、物議を醸した。ジョコ・ウィドド支持の姿勢を明らかにしていたハシムにはサイドを攻撃する材料にもなり、総裁職をうかがうハシムはNU内での影響力を保持しようとした。¹⁴⁾

このNUエリートの対立に、東部ジャワ州のNU系政治家も絡んできた。現副知事のサイフラ・ユスフ(Saifullah Yusuf: Gus Ipul, 1964〜)は、NUの青年組織アンソール(Ansor)の元委員長であり、閣僚経験もある政治家である。過去2回の州知事選挙でハシムに対抗馬をぶつけられた経緯から、マカッサル大会では反ハシム工作に精力的に関わった。現知事が退く2017年に州知事就任をめざしており、来る選挙戦では三度ハシムによって苦戦を強いられることが予想された。また、PKBは、ハシム時代はNUとの関係はやや冷え込んだが、2014年はサイドの「協力」もあって党勢を盛り返した。ハシムが総裁になると来る統一地方首長選

10) グス・ドゥルの庇護を受けて台頭した一群の若い世代で、独自のNGOをつくって活動することが多く、NUの組織幹部とはならなかった。思想的には教義の複数解釈を認める多元主義(pluralisme)を強く志向する。

11) それにもかかわらず、度々一方の側を支持したという虚報がネット上で飛び交い、何度もそれを否定した。「Gus Mus Bantah Dukung Prabowo Subianto」(グス・ムスはプラボウォ・スビアント支持を否定)(<http://www.republika.co.id/>) (2014年11月3日掲載) 2015年8月13日閲覧。

12) 民主化後に結党・結社が自由になり、1998年8月、グス・ドゥルが創立宣言をして成立した。NUに基盤を置くが、組織的に異なる政党が必要とされて、結成された。グス・ムスも結党者に名を連ねた。しかし、その後内紛を繰り返し、グス・ドゥルも党から離れた。

13) 「Gus Mus: Ketua PBNU Tak Ngerti Politik」(グス・ムス: 総議長は政治がわからない)(<http://www.tempo.co/>) (2014年4月17日掲載) 2014年7月13日閲覧。

14) 「Aqil Siroj Dukung Prabowo, Hasyim: Itu Salah」(アキル・シロジがプラボウォを支持、ハシム: それは誤りだ)(<http://www.tempo.co/>) (2014年6月12日掲載) 2014年7月15日閲覧。大統領選での支持の違いは、「全国協議」(注17)参照)の開催をめぐる混乱となって現れた。当初開催は2014年5月に予定されていたが、4回も変更になり、結局開催されたのは11月初旬であった。会場も何度も変更された。一時はハシムがジャカルタ近郊に主宰するプサントレンでの開催が決まっていたが、ジャカルタ中心部にある中央役員会ビルに移された。開催地のホストとなって影響力を示したいハシムと、サイドとの間の確執がこのような形となった。なお、選挙後、ハシムは大統領諮問会議のメンバーに任命された。

挙（2015年12月予定）などでNUの票田があてにできなくなる、と警戒していた。

大会が近づくと、総裁選・議長選に関心が集まる。総裁選では、ハシムとグス・ムスが有力候補とみられていたが、グス・ムスは、自分とハシムはまだその職に相応しくないとし、他の長老キヤイの名前をあげていた。¹⁵⁾ 一方議長選では、現職のサイドと、ジョンバンのトゥブイレン (Tebuireng) でプサントレンを主宰するサラフディン・ワヒド (Salahudin Wahid, 1944～：以後通称のグス・ソラ Gus Solah/Sholah で記す) が早くから意欲を示していた。グス・ソラはグス・ドゥルの実弟であるが、思想的には異なることが知られている。マカッサル大会で最有力候補と報じられながらも第一段階の指名投票で敗退した。ハシムにとっては2度の敗北は致命的となるし、グス・ソラも71歳という年齢からすれば、ラスト・チャンスであった。両者はマカッサル大会以後連携して地方支部を精力的に回っていた。マカッサル大会でのしこりは大きかったうえ、サイドの組織運営はまださほどの成果をあげていなかった。現執行部に対する不満は募っており、そこにNU系政治家の思惑が絡まった。大会を運営する委員会 (*panitia*) は、中央役員会を中心に構成されるが、サイフらは現地大会責任者として采配を振るえる立場についていた。

2.3 AHWA 問題

NUを創立したキヤイが設立したプサントレンがいくつもあるジョンバンは、「サントリの町 (*kota santri*)」と呼ばれており、NUの心臓部のひとつである。開催地にジョンバンが選ばれたのは、プサントレンから生まれたNUが原点に戻って、そのあり方を再検討しようとする姿勢を示すことでもあった。「イスラーム・ヌサンタラ」が大会のテーマに設定されたことは、現中央役員会内にイスラームの教義を幅広く解釈することを容認する思想の持ち主が多いことをも反映する。NU系ウラマーは、それぞれ教義解釈の幅が異なり、思想的には一枚岩ではない。このようなテーマ設定に対する異論もあがったが、総裁選出方法問題に隠れて大きな声にはならなかった。

第33回大会が間近に迫った2015年6月頃から、AHWAという耳慣れない略語がNU関係者の間で飛び交い始めた。これは、Ahlul Halli wal Aqdiというアラビア語の略語である。字義的には、「問題を解決し、拘束する権限のある人々」を意味するが、協議を通して解決法を見出すことをめざす長老ウラマーから成り立つチームのことを指す。¹⁶⁾ ウラマーの権威を象徴する裁定方法で、1984年第27回全国大会 (シトゥボンド Situbond, 東部ジャワ) で採用された。長老キヤイが大会参加者を代表して指導者選択の審議を行ない、NU指導部の世代交代を

15) “Gus Mus: Sejak Kapan Pemilihan Rais Aam Seperti Pilkada?” (グス・ムス：いつから総裁選は地方首長選のようになったのか?) NU Online (2015年1月16日掲載) 2015年8月15日閲覧。

16) イスラーム法学ではよく知られた政治概念である。正統カリフ時代の第3代カリフであるウマルが、その後継者選出のために、ムスリムの代表6名を指名して協議させたことに範をとったとされている。

促進させた。この大会は NU が組織改革、近代化へ舵を切る転機となった。しかし、それまで議長職を長く務めた側には不満とされた [Bruinessen 1994: Bab 4]。この方法は、前大会でもグス・ムスが場外から提唱したが、会議で協議されることはなかった [小林 2014: 72]。

AHWA はサハルの指示であり [Kompas, Juli 31, 2015], NU の公式協議の議題に出てきたのはその存命中の 2013 年 9 月ウォノソボ (Wonosobo, 中部ジャワ) での中央役員会全体会議であった。その後、2014 年 11 月の全国協議 (Musyawarah Nasional)¹⁷⁾ で議論され、大会直前の 2015 年 6 月 14・15 日の全国協議で実施方法が決められた。方法は、次のとおりである。まず、AHWA メンバーの候補者 39 名が、中央役員会の顧問会 (Mustasyar)¹⁸⁾ とシュリアの委員によって選ばれる。その 39 人中から、それぞれの支部が AHWA に相応しいと考える 9 名の名前を選んで提出する。その 9 名には、39 名の中にないウラマーの名前も書くことができる。次に、集計作業を行ない、獲得票の多い上位 9 名が AHWA に選ばれる。また、AHWA は総裁選出にのみ適用され、議長選は従来どおりの投票で決定されることになった。¹⁹⁾

総裁職に再挑戦する機会をうかがうハシムは、早くからこの選出方法に反対の意思を表明していた。²⁰⁾ しかし、6 月の全国協議のあと、この AHWA 方式に対する疑義がハシムに近い人々から次々と表明された。直接投票の方が民主的、綱領にない方式なので手続き上不備である、AHWA が必要とされる状況ではない、AHWA を構成する実力あるウラマーはいなくなっているなどの理由であった。39 名のリストが発表されると、筆頭に名前をあげられたハシムの実兄ムヒット・ムザディ (Muchit Muzadi, 1925~2015) は AHWA に同意しない旨を表明した。²¹⁾ リストには、グス・ムスの名前はあったが、ハシムの名前はなかった。

また、大会には莫大な費用がかかるが、4 月中旬に東部ジャワ州政府が 49 億ルピア (約 4,500 万円) を拠出することが報じられると、これも政治の介入を招きかねないことが懸念された。²²⁾ 特に、大会が近づくとともに PKB の干渉を懸念する声がインターネット上に相次ぎ、

17) 全国協議は、ウラマーが参集して行なう、法学検討と全国大会の進行方法策定という準備会議的な意味合いがあり、大会と大会の間に不定期に行なわれる。シュリア全国会議ともいえる。また、それと対になるタンフィズアの大会議 (Konferensi Besar) も同時に開催されることが綱領で決められている。

18) 通常長老ウラマーがメンバーとなる部署で、実質的な権限はない。

19) “Ini 39 Nama Calon Anggota Ahlul Halli wal Aqdi” (これが 39 名の AHWA メンバー候補者の名前) NU Online (2015 年 7 月 3 日掲載) 2015 年 8 月 15 日閲覧。「39」という数字は、39 名の会長選出候補者を選ぶムハマディヤの方式にならったものと考えられる。なお、「9」は、ジャワに最初にイスラームを布教したと伝えられる「九聖人」、また NU のロゴマークにある 9 つの星に由来するとも考えられる。

20) “Hasyim Muzadi Lebih Suka Sistem Pemilihan Langsung” (ハシム・ムザディは直接選挙をより好む) NU Online (2014 年 10 月 20 日掲載) 2015 年 8 月 15 日閲覧。

21) “Diusulkan 39 Nama AHWA” (AHWA の 39 名の名前が提案される) (http://duta.co/) (2015 年 7 月 3 日掲載) 2015 年 7 月 28 日閲覧。

22) “Soekarwo Sumbang Mukhtar NU Rp 4,9 M, Garda Muda Gerah” (スカルウォ〈州知事〉NU 全国大会に 49 億ルピアを寄付、青年隊激怒) (http://nasional.tempo.co/) (2015 年 4 月 18 日掲載) 2015 年 7 月 25 日閲覧。今回の大会では経費は 90 億ルピア (約 8,000 万円) を要したという [Tempo, Agustus 16, 2015: 43]。

NUは特定政党（PKB）と距離を置くべきだとする論評が全国紙にも掲載された [Aminudin 2015他].

3. 第33回大会の進行

ジョンバンでは、マカッサル大会で批判が相次いだピルカダ (*pilkada*=*pemilihan kapala daerah* 地方首長選) のような、選挙キャンペーンのポスターや横幕は禁じられた。しかし、政党関係者の写真入りの幟は目についたし、中でもPKB党首ムハイミン・イスカンダル (Muhaimin Iskandar: Gus Imin, 1966~) とその実兄の幟は突出して多かった。また、東部ジャワ州正副知事の幟もそれに次いで目についた。通常大会は、オープニングセレモニーのあと、全体会議（大会運営手順の確認、執行部の業務責任報告審議）、分科会、再び全体会議（分科会の審議報告、指導部選挙）と続く。最初の全体会議では、執行部の用意した提案書にはAHWA方式に関する規定も記されている。ジョンバンでは大会の冒頭から審議が喧しくなることが予想された。

なお、大会直前に、代表を送る資格のある支部は554で、そのうち海外支部（PCI）が20であることが発表されたが [Jawa Pos, Agustus 1, 2015], 実際に代表を送ってきたのは508支部である。

3.1 登録とオープニング

大会会場は大モスク前広場に設置された大テントで、約5,000人を収容する大きさであった。入場するにはIDカードの取得が要件であるが、登録は開催前日の7月31日から全体会場から1キロほど離れたスポーツセンターで行なわれた。全国大会には州支部、県支部はそれぞれチームを組んで代表を送り込んでくるが、総勢約4,000人である。この地方代表は登録を経て参加者 (*peserta*) のIDカードを付与され、会議参加者はムクタミリン (Muktamirin) と呼ばれる。見学者 (*peninjau*) も会場に入れるが、やはり登録してIDカードを取得しなければならない。見学者は1,000人規模と考えられるが、筆者のような外国人研究者もいる。さらに、全国大会には支援者 (*penggembira*) が多数押しかけるが、その大半は登録しなかったものと考えられる。開催前からPKB関係者の介入を警戒する報道が相次いだことも手伝ってか、IDカード取得は厳しく条件づけられた。

AHWAをめぐる係争は登録会場から始まった。地方代表は、上述の9人のウラマーリストを提出しないとIDカードを渡されず、臨時の小さなIDカードを渡されるだけで、しかも登録申込書にTanpa Ahwa/TA (AHWAなし) という印がつけられた。AHWA方式に賛成していない地方代表はリスト提出を拒否し、登録所は緊張した。8月1日、騒ぎを聞きつけた中央役員会の書記局長 (Katib Anom) マリク・マダニ (Malik Madani) が受付会場に駆けつけ、係員に対して、登録の問題は会議で話し合うので登録自体は差別なくスムーズに行なうように

呼びかけた。²³⁾しかし、PC もダウンするなど、大勢が順番待ちとなり、混乱は続いた。

オープニングセレモニーは夜 8 時から始まった。その 1 時間くらい前から会場の外では大掛かりな宗教歌謡ポップショーが始まり、雰囲気盛り上がったところに大統領一行が到着し、その様子が会場の内と外に設置された巨大スクリーンに映し出された。国歌「インドネシア・ラヤ」の斉唱に始まり、クルアーン朗誦、国の安泰を願う詩の朗読と続いた。スピーチに入ると、現地大会責任者のサイフラ・ユスフが大統領に大会準備終了報告を行ない、東部ジャワ州知事挨拶、議長挨拶、総裁代行挨拶と続いた。サイフラは列席したメガワティ元大統領に気を遣ってか何度も彼女の父故スカルノ初代大統領に言及し、また PKB 党首ムハイミン・イスカンドルの名前も口にするなどして、自己宣伝を行なった。サイドも力強い演説をしてアピールしたが、グス・ムスは淡々と挨拶した。大統領の来臨は NU と政府の良好な関係を示すものであり、演説のあとに大統領が大太鼓を叩いて開会を宣言するという既定のパターンで終了した。しかし、大統領の退場後に、その夜 10 時から予定されていた全体会議は、まだ登録の済んでいない参加者が多いために延期することがアナウンスされた。ショー化したオープニングとは対照的に、会議日程は初日から狂い始めた。

3.2 大会運営規則をめぐる議論

全体会議が始まったのは翌 2 日の 2 時半過ぎであった。大会運営規則 (*tata tertib*) を審議する第 1 全体会議の議長は、中央役員会タンフィズィア委員のスラメット・エフェンディ・ユスフ (Slamet Effendi Yusuf, 1948~) で、今回の大会運営委員長である。議事を始めようとする、会場の数カ所にマイクを用意することが要求された。マイクが設置されると、議長団を大会参加者自身で選びたいというクレームが相次いだ。「議長団は毅然とした態度を」という声も飛び、議長は決然と審議に入ったが、フロアからの発言はやまず、「大声を出す必要はありません」と何度も自制を求めた。喧騒にも似た状態に陥り、「これはウラマーのフォーラムだ」「世間が何と云うことか」「インドネシア中に報道されているぞ」「恥ずかしい」などの声も飛び交った。また、加熱した雰囲気を鎮静化させるためか、フロアから何度もソラワット (*shalawat/salawat*)²⁴⁾ が朗誦された。参加者がそれに唱和して会場全体にこだまし、議事はなかなか進まなかった。日没の礼拝が近づいたところで、ロビー活動のために審議を一旦打ち切って夜 8 時に再開することが宣言された。

9 時近くに全体会議は再開し、当初は穏やかに議事が進行して、休憩時間に参加者は熱をさま

23) “KH Malik Madani “Selamatkan” Registrasi” (キヤイ・マリク・マダニ、登録を「救う」) NU Online (2015 年 8 月 2 日掲載) 2015 年 8 月 12 日閲覧。

24) ソラワットは、アラビア語 (ときにはジャワ語) で預言者ムハンマドを讃える祈りで、旋律をともなって朗誦される。宗教集会ではこれを唱和することが NU の人々の習慣になっている。参加者が全体会場に再入場するときも、サロン (腰巻) をした関係者がソラワットを口ずさみながらぞろぞろと続くという NU 独特の風景が展開した。

したかのようにみえた。しかし、AHWAの規定を記した草案部分（第19条）に入ると、一気に雰囲気は過熱した。発言を申し出る参加者が相次ぎ、希望を受け付けたところ、113人に達した。ひとりずつ意見表明が始まり、それぞれ支持、不支持を明言して理由を述べ、中には審議プロセスの変更を提案する参加者もいた。AHWA そのものもさることながら、この方式を採用するための手続きがNUの綱領（Anggaran Dasar/Anggaran Rumah Tangga）に抵触するか否かに論点が集まった。委員会はAHWAを強制するなどという訴えが続いた。数人終わったところで、スラメット議長から「議長団の一員として壇上におられる書記局長のキヤイ・マダム・マリクが特に発言を求めておられるので、認めていただきたい」という申し出があり、了承された。

マダム・マリクは、AHWAを最初に提言したのが自分であることを明かし、その理由と経過を次のように述べた。前回大会後に書記局長に就任したが、いつも地方役員選挙で敗北した側からの訴状が届いた。²⁵⁾ それに鑑み、投票ではない方法、AHWAを採用するのが妥当と考え、協議を重ねてきた。しかし、この条項案はまだ完全なものではなく、また広報も足りなかった。先ほどの（フロアの参加者、北スマトラ代表の）提案のように、組織問題を議論する分科会で審議して、修正提案を全体会議に諮るのはどうだろうか。

この提案には賛成の声もあがったが、順番待ちの発言希望者の意向が優先されることになった。発言の内容は厳しさを増し、ウラマーを侮辱したとされる参加者が退場処分になった。「総裁はご見解 (*fatwa*) を！」の声もあがった。10人目くらいの発言者はリアウ諸島からの代表であったが、AHWA提案をめぐる収賄工作がなされ、議長団にそれを行なった人物がいると発言した。ここで会場内は騒然となった。議長が会場警備員に拘束を指示し、TV画面には、発言者が警備員にマイクを取り上げられた挙げ句にもみくちゃになる場面が映し出された。審議は休止が宣言され、スラメットとサイドは警護されて退場した。事態の收拾が図れるのか不安な状況に陥った。時計は夜の11時半を指していた。

通常、大会運営規定は執行部提案どおりに承認されるだけに、今回はこの部分の審議で現執行部への不信・不満が露骨に示されるという異例の始まりとなった。翌朝のメディアはこぞってこの騒動を報じた。加えて、当初4つのプサントレンが参加者の宿泊場所として等分に割り当てられたにもかかわらず、多くが指定されたプサントレンに宿泊せず、トゥブイレンに2,500名が集結していること、さらに、登録していないのにIDカードを入手している「参加者」がいることも判明した [Jawa Pos, Agustus 3, 2015]。委員会も戸惑う事態がいくつも起きていた。

3.3 グス・ムスのスピーチ

総裁代行のグス・ムスは、青年時代に6年ほどアズハル大学で学んだウラマーで、インド

25) NU 役員は無報酬で職務を遂行するが、社会的威信を生み出すために、役職につきたがる成員が増えている。

ネシアでは文化人としても知られる。日常生活でのファトワ（法学裁定）集をはじめとする著作がある一方、エッセイや小説を執筆し、絵画も嗜む。特に詩人として著名で、ピアノの伴奏をバックに詩を朗読する姿は絵になる。メディアでの露出度が高く、国民的人気も高い。HP やツイッターでメッセージを発信する一方、市井の人々に慕われる伝統的キヤイのスタイルを維持している。主宰するルンバン（Rembang, 中部ジャワ）のプサントレンには、遠くからも宗教講話を聴きに來る信徒が絶えない。今まで NU の組織幹部職に就任するのを度々拒んでおり、一部には「グス・ムスは NU が必要とするときに動いてくれない」²⁶⁾ という不満をもたれていた。異能の人だけあって、組織や地位に拘束されるのを嫌う性向も知られていた。グス・ドゥルの親しい友人で、逝去間際にグス・ドゥルがグス・ムスに NU 総裁になってほしいと遺言したとも伝えられていた。マカッサルではハシムを批判する一方で、そのマネジメント業績は評価した。大会前も AHWA を主張する側と拒否する側の双方に受け入れられると考えられていた。²⁷⁾

3 日の午後 2 時半頃に全体会議は再開された。スラメット議長が、審議の前に総裁がお話をされるとアナウンスし、グス・ムスの独特の声が穏やかに響き渡った。壇上のグス・ムスは、あまり意欲がない風情だったオープニングのときとは異なり、ターバンに白いジユバ（長い上着）をまとったいかにもウラマーらしいでたちで、悲痛な表情を浮かべていた。最初はアラビア語の祈りを捧げ、全国大会開催を祝い、不手際を詫びる型どおりの挨拶だったが、その後は参加者へ次のような呼びかけを行なった。以下、やや長いが一部を省略してここに訳出する。

昨日の会議を見ていたときに、涙しました。この間 NU は、他者の芳しからぬ行いを批判する宗教団体として品格 (*akhlakul karimah*) に満ちた手本というイメージをもたれてきましたが、メディアではひどく報道されることになってしまいました。私はアッラーに恥ずかしく、ハドラトゥス・シャイフ、キヤイ・ハシム・アシュアリ、キヤイ・ワハブ・ハスブッラ、キヤイ・ビスリ・シャンスリ、キヤイ・ロムリ・タミン、²⁸⁾ 私たちの先人に申し訳が立ちません。私たちに預言者のモラルを教えて下さった方々です。新聞で「NU 大会は騒然、

26) 長年中央役員会事務局を担当していたアフマド・バクジャ (Ahmad Bakja) 氏とのインタビュー (2011 年 3 月 15 日, ジャカルタでのインタビュー)。

27) “Berharap Gus Mus ‘Turun Gunung’” (グス・ムスが山から下りる〈姿を見せる〉のを期待する) (<http://duta.co/>) (2015 年 7 月 21 日掲載) 2015 年 7 月 28 日閲覧。

28) 「ハドラトゥス・シャイフ (Hadratus Shaikh 賢明な宗教指導者)」は、初代 NU 総裁ハシム・アシュアリ (1871~1947) のことを指す。プサントレン・トゥブイレンの創設者で、グス・ドゥルの祖父にあたる。第 2 代総裁ワハブ・ハスブッラ (1888~1971) はプサントレン・タンバクブラス (Tambakberas) の創設者で、グス・ドゥルにとっては大伯父にあたる。第 3 代総裁ビスリ・シャンスリ (1888~1980) はプサントレン・デナニヤル (Denanyar) の創設者で、グス・ドゥルの母方の祖父。ロムリ・タミン (Romly Tamin, 1888~1958) は、プサントレン・ルジョソ (Rejoso) の創設者である。ルジョソはイスラーム神秘道で名高く、ジョンバンでも最大規模のプサントレンである。この 4 ヶ所が今回の全国大会の分科会場になるとともに、参加者の宿泊所となった。

ムハマディヤ大会は整然」と見出しに書かれているのに目を奪われ、さらに心が痛みました。再度お詫びを申し上げます。ファーティハ（クルアーン開扉の章）を真心こめて（*ikhlas*）読んで伝えましょう、預言者がシャファアト（*syafaat* 神へのとりなし）をしてくださいますよう。（預言者の）家族、教友、第2世代の先人、聖者、ウラマー、とりわけNUのウラマー、さらに特別に、私をこのような立場に置いたキヤイ・サハル・マフツズに、なぜ亡くなられて私にこのように大きな責任を背負わせになったのでしょうか。

暫定総裁として皆さんの耳をお借りしたい、私のことを祈ってください、私にはもう相応しくないこの役職を果たすのは今回限りであることを。でも、もし私とその職、暫定総裁であるのなら、あなた方の最高指導者として私の言うことを聴いて下さい。そうでないのなら、私の言うことは忘れてください。

もし必要とあれば、私はあなた方すべての足に口づけをします。あなた方がキヤイ・ハシム・アシュアリのモラル、宗教組織NUのモラルを態度で示すためならば、あなた方すべての足に口づけします。

私は長老キヤイの方々をお呼びしました、皆さまの意見をお聴きしました。大方すべての皆さまが大変深く悲嘆しておられます。この地にはキヤイ・ハシム・アシュアリとキヤイ・ワハブ・ハスブツラが眠っておられます。ここでNUは創設されました。またここで私たちはこれを崩壊させようとするのでしょうか。神がお禁じになります、お救いを！平身低頭して私はお願い申し上げます。すべてを解き放してください、アッラーと私たちの先人のことを考えてください。

そこで、この状況を考えたあと、先ほどの昼まで集まられたキヤイの方々、悲嘆を述べられる一方、今後の議論の指針となる必要のあるいくつかのポイントを伝えてくださいました。スナヤン²⁹⁾と同じにならないように、少しだけの解決法で合意しました。

第1に、総裁選出に関してこの全国大会でまだ合意できない規定があり、協議を通して合意できないのであれば、シュリア長（地方支部の：訳者注）が投票を行いません。

あなた方がまたひとつになれないとしたら、私とキヤイたちは解決法を出します。協議ができるのなら。協議ができないのなら、投票で。それが私たちの綱領です。なぜなら、総裁の選出事項ですから、キヤイたちがキヤイの指導者を選ぶのです。

そして、大会運営規定が合意されたら、即座に確定されなければなりません。この全国大会の責任者として、これが私のなし得ることです。

もしあなた方がこれを受け入れられないのなら、あなた方が私をただムストファ・ピスリと見るからで、私はこれを謙虚に受け入れます。

29) 大会直前の全国協議のこと、ジャカルタのスナヤン（Senayan）競技場でオープニングが行なわれた。

でも、お願いします。私はアッラーからの信託を得ています、なぜなら私はキヤイ・サハルの代行になるという災難を受けてしまったからです。それゆえ、キヤイ・サハルがアッラーに召されたあと、私は暫定的に総裁に就任したのです。

私が総裁になるのはこれ限りでありますように、祈ってください。

私は昨晚来寝ていません、他でもありません、あなた方のことを考えていたからです。大会参加者の皆さますべてにお詫び申し上げます、とりわけ遠方から来られた方、またお年を召された方、あなた方をがっかりさせた委員会の技量を。

私は身を低くして、お詫び申し上げます。誠心 (*keikhlasan*) をお願いいたします。彼らをお許してください、私をお許してください。それは責任者としての私の過ちです。あなた方が心を開いて私を許してくださいませよう。³⁰⁾

時に震えながら涙声になるグス・ムスの言葉に、涙ぐむ参加者もいた。議長が、総裁の提案を受け入れるかどうかを尋ねると、「賛成する (*setuju*)」の声が沸き起こった。全体会議は一旦休止し、分科会会場となった4カ所のプサントレンへと参加者は移動した。「組織」問題を議論する分科会会場に指定されていたデナニヤル (Denanyar) のプサントレンでは、分科会とは別個に、地方支部のシュリア長による協議 (以下「シュリア・フォーラム」と呼ぶ) が行なわれることになった。³¹⁾

3.4 指導部選出

3日夕方に始まったばかりの分科会は中断されて、やっとその夜、執行部の任期中の業務についての報告が行なわれた。サイドが1時間半にわたって読み上げ、そのあとに中央役員会の活動を記録したフィルムが上映された。その中では、あたかも活動はそのすべてがサイドの業績であるかのように描かれていた。通常、業務報告のあとは各州代表から意見表明が行なわれるが、それも省かれて即座に拍手による承認となった。現執行部はここで退陣となった。本来の予定では2日の午前に行なわれるはずのものであったが、委員会は何とか大会を日程内に収めることに必死の様子であった。翌4日はそれぞれの分科会と、シュリア・フォーラムが開催された。

5日午前9時半過ぎから全体会議が始まり、各分科会の報告が始まった。報告のあと、意見が聴取され、微調整のあと大会決議としての承認となる。3つの法学検討分科会の報告が済んだあと、シュリア・フォーラムに順番が回った。AHWAについては最終的には投票が行な

30) グス・ムスのスピーチは、*Jawa Pos* (2015年8月3日) と *Kompas* (2015年8月4日) に掲載された演説文と、またインターネットのYouTubeを突き合わせて確認した。

31) 分科会は、「組織」の他に、「法学検討」(3小分科会) がタンバクプラス、「プログラム」(NUの今後1世紀の行動計画を議論) がルジョソ、「推奨」(NU内外に向けて提言) がトゥブイレンで行なわれた。

われ、支持 252 票、反対 235 票、白票 7 という結果で、今大会で総裁選に採択するという提案が成立したことが報告された。この提案が承認され、次に組織分科会の報告がなされた。シュリア・フォーラムの提案とは異なる修正提案、AHWA は次回から適用されるという提案がそのまま報告された。すると議長が、すでに AHWA 採択が全体会議で承認されているので、組織分科会の提案は受け入れられないと宣言した。意見聴取は行なわれなかった。残りの 2 つの分科会の報告は意見聴取がされて、承認された。

AHWA に入るウラマーは午後の全体会議で発表された。登録時に地方代表から提出されたリストをもとに、委員会が集計を行ない、上位 9 人が選ばれた。しかし、リストを提出したのは 508 の地方支部のうち 359 にとどまり、一方、記された名前は 119 人にのぼった。³²⁾ AHWA は直ちに非公開で検討会議に入った。

夜 9 時前から再開した全体会議では、サイフラ・ユスフが係員として次のように報告した。会議中の AHWA にはグス・ムスから「AHWA の決定を受け入れますが、私はマサラハ (*kemaslahatan* 公共の福利) のために、総裁になる用意はありません」という短い書簡が届いた。しかしながら、AHWA はグス・ムスの就任辞退を「謙虚さ、慎み (*tawadhu*)」と解釈した。そして、やはりグス・ムスを総裁に選んだ。また、AHWA の委員長を務めたマアルフ・アミン (Ma'aruf Amin, 1943～)³³⁾ を副総裁にし、もしグス・ムスが就任を固辞する場合はマアルフ・アミンが総裁に昇格する。

この決定には最長老キヤイのマイムン・ズバイル (Maimun Zubair, 1928～) の意向が大きかったことも報告された。グス・ムスの指名が明らかになると拍手が起きたが、この時点ではグス・ムスの最終的な意志確認は行なわれていなかった。

続いて議長選に入ったが、ここではまた異変が起きた。大会の議事進行に法的瑕疵があるとする地方代表が、トゥブイレンに集合したまま大会会場に来るのを拒んだのである。グス・ソラもハシムもそこにいた。夜 10 時半、議長が 508 人のタンフィズィア代表のうち、378 人が出席していて定足数に達していることを宣言して、候補者を選ぶ第一段階の候補者指名選挙が行なわれた [*Kompas*, Agustus 6, 2015]。開票結果、サイドが 287 票で、2 位 107 票のアスアド・サイド・アリ (Asa'd Said Ali, 1949～)³⁴⁾ を大きく引き離した。アスアドは本選出馬を辞退した [*Republika*, Agustus 7, 2015]。³⁵⁾ 議長候補者は総裁の祝福 (*restu*) 承認を得なければな

32) なお、グス・ムスは 85 票で 12 位、リストに名前がなかったハシムは 53 票だった [*Jawa Pos*, Agustus 6, 2015; *Koran Sindo*, Agustus 6, 2015]。

33) AHWA のリストにあがった 39 人のウラマーの中で、最も多く地方支部の支持を集めたのが、マアルフ・アミンであった [*Jawa Pos*, Agustus 6, 2015]。

34) アスアドは元国家情報局副局長で、マカッサル大会後の執行部編成で、サハルの強い意向で副議長に就任した。

35) 投票総数は 378 を超えた。投票中に新たに会場に到着した地方代表が投票したことも考えられるが、詳細は確認できなかった。

らない。そこにグス・ムスから委員会に届いた書簡が読み上げられた。ジャウィ文（アラビア文字表記のインドネシア語）で以下の内容であった。

私たちが知るように、今回の大会は、それぞれの頭目を総裁にすることを望む 2 つのグループがあることに源を発する対立が少しあります。一方は A を選ぶために大会参加者に影響を与えようとし、もう一方は B を。AHWA システムはその一方のグループの道具とみなされています。

それゆえに、組織のマスラハ（公益）のため、また、競い合うその両者を守るために、AHWA はそれぞれが推す 2 つの名前を選ばないのがより良いのです。

総裁職は AHWA の中から最も資格基準に近い方に委ねられるのが望ましいと存じます。

一方、タンフィズィア議長には、大会参加者が喜んで選べるように、選出された総裁がすべての候補者を祝福してください。

感謝とお詫びを。³⁶⁾

マアルフ・アミンが総裁に昇格し、議長を続投することになったサイドを祝福した。閉会式に来る予定であった副大統領は来訪せず、6 日午前 3 時前、大会は静かに閉会した。

「分裂」にも似た形で大会は終了したが、大会での決議を認めないという地方代表約 400 名は 8 月 5 日夜に、トゥブイレンで集会を開いていた。大会の運営方法や AHWA メカニズムに瑕疵があることを理由に、大会会場（モスク前広場）での決議を無効とし、「対抗全国大会 (*muktamar tandingan*)」を標榜しようとした。しかし、そこで総裁への就任を要請されたハシムは、それを断り、NU を分裂させてはならないと主張した。それよりも、決議が無効なので、新しく選出された総裁や議長は認められず、新中央役員会は「空白」状態であるとした。また、トゥブイレンに集結したのは 401 の地方支部であるとして、大会会場での決議の無効を裁判所に訴え、全国大会を正規の手続きでやり直すことを求めた [Jawa Pos, Agustus 6, 2015; Surya, Agustus 6, 2015; Kompas, Agustus 6, 2015; Indo Pos, Agustus 7, 2015]。訴訟については、9 月下旬にグス・ソラがジャカルタの裁判所に訴えを起こす予定と報じられたが、その後についてはまだ情報がない (2015 年 11 月 26 日)。

4. 第 33 回全国大会から見たこと

大会を振り返り、問題をいくつか整理して考えたい。

36) “Bunyi Surat Gus Mus kepada AHWA tentang tidak kesediaan jadi Rais Aam.” (総裁就任辞退に関するグス・ムスの AHWA への書簡内容) NU Online (2015 年 8 月 7 日掲載) 2015 年 8 月 16 日閲覧。

① 「AHWA 問題」は何故起きたか

この全国大会は AHWA 問題に終始した感があった。なぜこれほど揉めたのか。

NU エリートが、ハシム・ムザディを総裁に選出したいとするグループと、それを阻止しようとする現総議長のサイドのグループに分かれて争ったが、AHWA はそれ自体が問題というよりも、導入手続き上の不備が指摘された。参加者は、1. AHWA 支持、2. AHWA 拒否、3. AHWA は手続きを整えてから適用すべきだ、という3つに分かれ、特に3番目の立場からの発言の根拠が強かった。確かに全国協議は全国大会よりも下位の協議機関なので、そこでの提案を全国大会ですぐ適用するというのは無理があった。

経緯からすれば、AHWA は最初から反ハシムを想定して提起されたとはいえない。ウォノソボ会議からの流れは逐次 NU の公式サイトには掲載されていたが、³⁷⁾ 執行部と地方支部とのコミュニケーションが不足していることが疑念を増幅させた。ハシム派からの反発が強まる中で AHWA は反ハシム派の方便になってしまい、グス・ムスは彼らに担ぎ出された格好となった。大会参加登録時に、AHWA 候補者リストへの返答を求めたことも、手続き上は不備であったと言わざるをえない。また、5日午前の全体会議での組織分科会の提案の扱いは明らかに恣意性を感じさせるものがあった [Gatra, Agustus 12, 2015: 27]。委員会の手法が強引であったのは否めない。その他、議事進行には確かにいくつかのルール軽視があった。責務報告に対する意見表明もなく、会計報告もなく、常連の大会参加者にはかなりの不満をもたれた様子だった。

双方の不信感は大会中にも不必要に増幅された。たとえば、登録所での混乱についてはいろいろな噂が流れたが、筆者がみた限りは、IT を導入したことが災いしたと思われたし、係員の不慣れも大きかったように思えた。³⁸⁾ また、サイフラはグス・ソラが支持者を自分のプサントレンに連れて行ったと批判したが、参加者が政治目的で宿泊先を移したとは限らない。グス・ドゥルの墓所に近くて参詣しやすいこと、トゥブイレンだけがベッドで就寝できること（他の宿泊先では教室の床に寝るようになっていた）が好まれたようである [Jawa Pos, Agustus 6, 2015]。

サイド執行部の組織運営の未熟さ、特に地方支部との意思疎通の不足が AHWA 問題の源であった。

37) ウォノソボの会議のことは新聞紙上でも報道されていた。“Pimpinan NU ke depan tidak dipilih langsung” (将来 NU 指導者は直接には選出されない) (http://www.antaranews.com/print/) (2013年9月8日掲載) 2015年8月23日閲覧。

38) 大会委員長のスラムメット・エフェンディ・ユスフも ID カードを携帯していなかったために登録所での入場を断られたという。“Ketua Panitia Pelaksana Mukhtamar Ditolak Masuk Arena Registrasi” (全国大会実行委員長、登録所への入場を拒否される) (http://news.okezone.com/) (2015年8月1日掲載) 2015年8月15日閲覧。筆者自身も自らの経験から、登録所の係員は委員長の名前や顔も知らない若手の活動家で、単に命令を忠実に実行していたという印象を受けた。

② NU と政治—PKB の干渉

大会運営には数千人のボランティアが関わるが、東部ジャワという土地柄からその中に多くの PKB 関係者がいることは避けられなかったであろう。オープニングではっきりしたのは、東部ジャワに基盤を置く NU 系政治家は、この全国大会を、NU に影響力を強めたり自己アピールしたりする場ととらえていたことである。

ハシムを阻止するために AHWA を支持するように収賄工作を行なったとされるのは PKB 関係者であった可能性が高い。筆者はジョンバン市内の友人宅に投宿したが、街中にもその風評は流布していた。ただ、マネーポリティクスは NU の全国大会ではしばしば問題になるので、特に今回に限って驚くべきことでもない。今までにない問題が指摘されたのは、「不正参加者 (*peserta gelap*)」の存在である。これは会議の成り行きに影響を与えたのだろうか。

今回、AHWA 方式の採用を最終的に決定したのは、臨時に設定されたシュリア・フォーラムの場（8月4日）であった。筆者は、このときに同じプサントレン・デナニヤルの別の会場で、主にタンフィズリア代表が参加していた組織問題に関する分科会を見学していた。この分科会は、組織綱領の再検討、改訂案提出が任務であった。AHWA をめぐる条項は最後まで意見の一致をみず、夕方になってやっと次期の大会から適用されるという付帯条項付きで報告がまとめられた。議長の意見集約に恣意性は感じられなかった。つまり、干渉なく議論すれば、今回の AHWA 実施は見送るべきだという意見が優勢だったのである。

それでは、総裁選出方法を議論するために特別に設けられたシュリア・フォーラムはどうだったのだろうか。ここでは激しい議論のあと、AHWA については投票での決着に持ち込まれた。投票のときにひとつトラブルがあった。パプア州代表がパプアの慣習に従って、県代表の分もまとめて 30 票をひとりで投じようとしたところ、怒った南スラウェシ代表がなぐりかかった。議長団が何とかこれを収めて、その方式を了承した。³⁹⁾ その結果、先述のとおり僅差で AHWA 実施が決議された。

これについては、オーストラリア・ニュージーランド支部のシュリア長、ナディルシャ・ホセン (Nadirsyah Hosen) が、結局この「パプア代表の 30 票が AHWA 賛成決定票となった」と断じ、「パプアでどのようにしたら 29 もの県にシュリア長がいる支部があるのか」と強い疑問を呈した。⁴⁰⁾ また、マリク・マダニも、シュリア・フォーラムで「投票権のない人々がそ

39) “Pemilihan Rais Aam PBNU Dipastikan Pakai Sistem Ahwa” (PBNU 総裁選出は AHWA 方式を使うことが確定) (http://jatim.metrotvnews.com/) (2015 年 8 月 4 日掲載) 2015 年 8 月 28 日閲覧。パプアからの代表にはそもそもジャワ出身者が多く、移住してパプアに暮らしている [Jawa Pos, Agustus 4, 2015]。筆者も大会会場でパプアからの代表を垣間見たが、ジャワ人的な顔をしている人の方が多かった。

40) “Islam AHWA dan Islam Nusantara: Catatan Paska Muktamar NU” (AHWA イスラームとイスラーム・ヌサンタラ: NU 全国大会後記) (http://www.gatra.com/) (2015 年 8 月 24 日掲載) 2015 年 8 月 29 日閲覧。行政区分上は、現在パプア州には 29 県ある。なお、印刷版 [Nadirsyah 2015] には、「パプア代表の 30 票が AHWA 賛成決定票となった」の部分は削除されている。

の権利を獲得するのを私自身が見た」[Surya, Agustus 6, 2015]と証言している。PKB関係者がNUの地方代表になりすましたことは、他でも報道された[Tempo, Agustus 16, 2015: 42-43]。新しい県支部が全国大会の場で、中央役員会によって承認されることはある。しかし、仮に会場に入る前に承認されていたとしても、現執行部も組んだ「謀略」と言われる疑念を払拭できない。AHWA問題はPKBが絡んだことで悪化したのではないか。

③ 地域差—ジャワとジャワ島外

今回大会に実際に代表を送ってきたのは508支部であるが、このうち、仮にジャワ島は全支部から代表が来ていたとしても125(州支部6, 県支部が119)である。海外支部は15だったので、ジャワ島外は368(州支部28, 県支部340)であり、地方支部全体の約4分の3を占める。ジャワ島内支部は早い時期に設立されていたと考えられるが、ジャワ島外の支部はどうだろうか。過去の大会の投票総数を見てみると、1989年大会では305、1994年大会では316であり[Barton and Fealy 1996: 154, 271]、ハシムが議長に当選した1999年大会では324[Bush 2009: 165]である。グス・ドゥルが議長の時代には地方支部はあまり増えていないことがわかる。これに対し、2004年大会では455[Tempo, Desember 12, 2004: 27-28]、2010年マカッサル大会では504に達していた。ハシムの議長としての任期中に飛躍的にジャワ島外の支部が増えている。⁴¹⁾新しく設立された支部の多くはハシムを支持したと思われるが、ハシムはマカッサル大会後も精力的に地方支部を回っており、支持基盤を固めていたと思われる。⁴²⁾

それでは、組織体としての「実質」はどのようなであろうか。これを測るのは難しいが、有力ウラマーの分布から大雑把に推しはかることはできる。今回AHWAメンバーの候補者に選ばれた39人の内訳は、23人がジャワ島在住、12人がジャワ島外在住であった。⁴³⁾また、実際にAHWAに選ばれたメンバー9人の内訳はジャワからが6人、ジャワ島外が3人であった。これにAHWA入りを拒否したムヒット・ムザディや、病気で来られなかったジャワ人ウラマーを考えると、有力ウラマーの3分の2以上はジャワ在住である。NUの勢力の大半はジャワにあるといわれるが、それを裏付けているともいえる。

以上のことから考えると、投票では、ジャワ島外の票がアンバランスに大きく結果を左右することは明らかである。新しい執行部には、ジャワ島外の地域に特別の配慮をして意思疎通をはかることが大きな課題となる。ハシム時代に設立された新しい支部を充実させていく作業

41) アフマド・バクジャは、ハシムの議長時代の業績の筆頭に、ジャワ島外の支部を活性化させたことをあげた(2011年3月15日、ジャカルタでのインタビュー)。

42) 筆者は合間をみて、分科会会場や全体会議会場で、側にいた地方からの参加者に誰が総裁に相応しいかを尋ねてみた。話しかけた参加者は限られているので、安易な一般化は避けなければならないが、やはり、ジャワ島外からの参加者にハシム支持が多い印象を受けた。

43) 他は海外在住1名、女性3名であった。女性ウラマーの名前は女性も尊重されていることを示すジェスチャーに過ぎないであろう。

を、長い時間をかけて行なわなければならないであろう。

④ 長老ウラマー／キヤイの役割

議事混乱で閉幕したが、少なくともマカッサル大会であまり目にみえなかった「NUらしさ」が今回の大会ではみえた。それは、長老ウラマー／キヤイが危機に際して問題解決に指導力を発揮したこと、またシュリアへの信頼が示されたことである。全体会議が行き詰まった翌日午前に総裁代行が招集した州支部のシュリア長と中央役員会のシュリア委員、および役員外の長老キヤイの会議では、事態收拾のための解決策が練られた。そこでも、全体会場で大声をあげたのはシュリア長ではないと考えられた [Jawa Pos, Agustus 4, 2015]。その午後のグス・ムスの演説は今大会のハイライトとなった。総裁就任を辞退するグス・ムスの短い手紙は、AHWA 問題の核心をあまりにも的確に示していた。自らを担ぎ出して指導部選挙の道具としようとした側（サイド）に対して厳しい警告となった。グス・ムスのスピーチや手紙では、「モラル、品格 (*akhlak karimah*)」「私心のなさ、誠意 (*ikhlas/keikhlasan*)」、「公共の福利 (*maslahat/kemaslahatan*)」というウラマーの価値観を示すキーワードが核となっていた。参加者にウラマーのモラルを再認識するように強く促した。また、最長老のマイムン・ズバイルの発言が強く AHWA の裁定を左右したことも特筆すべきであろう。

メディアは「グス・ムス、山から降りる (*turun gunung*)」と評した。山に籠って瞑想をしていた聖者が俗世の問題を解決するために姿を現したという比喻である。中間案（解決法）を示して判断をシュリア・フォーラムに委ねたあと、グス・ムスは 2 度と会場に現れなかった。⁴⁴⁾

⑤ 組織再編成

今回、AHWA 問題は NU エリートの間での奪い合いのようにはしかみられなかったが、NU 組織全体のあり方とはどう関わるのだろうか。マカッサル大会では話題にならなかったが、ひとつ見逃されてきたことがある。ハシムとその支持者が組織改革を目指していたことである。NU の組織整備は長年の課題であったが、ハシムはシュリアを強化することによって組織運営の効率化を図ろうとした。活動分野を 7 つに分け、総裁が各分野をコーディネートする役割を担う集団指導体制の構築を提唱した。総裁は強力な指導力を発揮すべきで、また思想的にはワッハブ主義、リベラル派、シーア派に影響されないことが必要だと考えた [Tim Penulis NU Jawa Timur 2010: 9-10]。

これに対し、そのとき総議長候補となったマスダル・マスウディ (Masdar Mas'udi, 1953 ~) は、組織役員には 3 つのタイプの人材 (キヤイ) が必要だとした。ひとつ目は、ウマツトに奉仕することに強く関わりと同時に専門技能を有する人材、2 番目には、非の打ちどころ

44) グス・ムスと直接接したナディルシャ・ホセン (注 40 と同じ出典) やオランダ人研究者ファン・ブライネッセン (van Bruinessen, Martin : 2015 年 8 月 21 日の筆者あてのメール) によると、グス・ムス自身は、総裁職の任に耐えられる力量は自分にはないと考えていたという。

がなくモラルで組織の礎石となる人材，3番目は，組織の精神的礎石となる聖者で，ただNUと民族のために祈る人である。その存在とその涙こそがNUを他と区別する [Masdar n.d.: 67-68]。この3つは，それぞれシユリア委員，タンフィズィア委員，総裁を指すと考えられる。

両者とも豊富な組織経験から，時代とともに実力のあるウラマーが少なくなっている現実に対処しなければならないという認識では一致していた。NUは人物に頼るのではなく，組織を整備しなければならないと考えたのである。ハシムはシユリア強化を考えたが，頓挫した。マスダルはタンフィズィアとシユリアの機能を区別し，総裁はウマットの精神的シンボルとなり，ウマットを組織につなぐ役割を果たすことを期待したといえよう。こう考えると，今回の大会でNUはマスダルが示した組織再編成のグランドデザインに一步近づいた感もある。総裁にはグス・ムスのような高いスピリチュアリティが望まれており，そのようなキヤイが実在することが示された。また，シユリアの存在が再び強く認識された。

5. むすびにかえて—今後のNU

第33回全国大会では，NUは驚くべきダイナミズムをみせた。しかしNU関係者からは「騒然，混乱するのがイスラーム・ヌサンタラか」「NUの人々は平和を愛し，キヤイに従順なのに，キヤイたちが口論するのを見るのに疲れた」という冷めた声も聞かれた。確かに，ウマットを忘れたエリート同士のコップの中の嵐の感は免れない大会でもあった。

また，AHWA問題で紛糾したためにメディアの目がそれに集中し，全体会議と本来は二本柱をなす法学検討部会に対する関心が弱かった。現代インドネシアが直面するいくつもの問題（健康保険制度，死刑制度など）にウラマーがどのような判断を示すか，ムスリムの日常生活にはこちらの方がより重要なだけに，惜まれる。また，海外支部からは，香港や台湾の出稼ぎ労働者の実情が報告され，NUのようなNGOが活動を広げることの意義が訴えられたにもかかわらず，何も報じられなかった。NUは大きな活動展開の可能性を秘めている。

AHWAは，次の大会へ向けてより成熟した形で綱領に盛り込まれるようになると思われる。なぜAHWAが採用されるかという点，そこには，NUが抱える2つの問題がある。ひとつは，総裁に相応しい力量を備えたウラマーが少なくなってきたことである。総裁は碩学であるだけでなく，政治に染まらず，清廉な道徳を有することが期待される。その一方，巨象のような団体の長として全国レベルで通用する指導力が求められる。ひとりの人間には共存しがたい資質が求められる。しかも，民主化時代，NUは政党・政治家にとっては是非とも支持を取り付けたい「票田」とみなされ，実践政治に巻き込まれやすくなった。これが第2の問題である。指導者には政治に対するバランス感覚が必要とされる。AHWA問題は，NUが新しい時代に適応する過渡期にあることを示したといえよう。

大会半月後の 8 月 22 日には新中央役員会の布陣が発表された。⁴⁵⁾ サイドはジャワ島外の地域に配慮をみせる一方、出身地の親族を何人も指名した。継続委員が多く、AHWA を強力に推進した人物が要職についた。東部ジャワ州支部シュリア長を副総裁に、スラメット・エフェンディ・ユスフを単なるタンフィズィア委員から副議長に昇格させ、副書記長を書記長に昇格させた。一方、ハシムだけでなく、議長選に出馬してサイドに対抗したアスアドやジョンバンで中立を貫いたマリク・マダニを退けた。また、ムハイミンの配下 (*anak buah*) とされる PKB 国会議員を重要なポジションである事務局長に指名した。さらに政治家のサイフラ・ユスフやヌスロン・ワヒド (Nusron Wahid, 1973~)⁴⁶⁾ もタンフィズィア委員となった。仲間内で固めた感が強い。サイドは組織強化を図るとは述べているが、その道のりは険しい。グス・ムスは顧問会に名前はあるが、中央役員会の業務には携わず、次世代の育成に力を注ぐと伝えられている。執行部から離れた立場で批判できる立場に戻った。実は NU に必要とされているのは、そのような場外にある実力者ウラマーなのであろう。

総裁に就任したマアルフ・アミンは、トゥブイレンで学んだイスラーム法学者で、長らく半官半民組織ウラマー評議会 (Majelis Ulama Indonesia, MUI) で活動してきた。MUI が多元主義的イスラームのあり方を否定するファトワを出してきた時期の実質的な責任者で、保守的教義解釈をするウラマーとみなされてきた。前政権では大統領諮問会議にも名を連ねたが、中央レベルで活躍する数少ない NU 系ウラマーのひとりである。大会後の 8 月下旬には MUI の議長に選出された。しかし、NU 内のエリートには知られているものの、一般信徒への知名度はいまひとつである。また、マカッサルではハシムの宣伝横幕に有力支持者として顔写真が掲載されたし、大統領選挙ではプラボウォ支持を表明した。政治的にはオポチュニスト的な側面があるのは否めない。ただし、ウラマーとしての技量は認められており、シーア派を擁護する言説を展開するサイドとも互角に宗教論議を行なうことでも知られている。NU はインドネシア社会から、「宗教的寛容を実現する」ことに貢献しているという評価を得ており [Kompas, Agustus 4, 2015]、違いを認め合うのが NU の強みと考えられる。トップの 2 人が異なるタイプのウラマーであるのも、NU らしいかもしれない。⁴⁷⁾ しかし、両者にはグス・ムスのようなスピリチュアリティは期待できず、発信力に乏しいのが、寂しいところではある。

45) NU Online (2015 年 8 月 22 日掲載) 2015 年 8 月 23 日閲覧。なお、ハシムの実兄で顧問会のメンバーになることを要請されたムヒット・ムザディは、これを拒否したあと、9 月 6 日に他界した。

46) アンソール委員長で、ゴルカル党の国会議員。グス・ドゥルの家族とも親しく、グス・ムスに依頼されて中央役員会入りしたという。

47) MUI の出したファトワがサイドの考えと異なることは知られており、サイドとマアルフ・アミンの間に論争が起きることが懸念されている [Nadirisyah 2015: 61]。

引用文献

- 小林寧子. 2014. 「変容するナフダトゥル・ウラマーの二重指導体制ーウラマーの権威と指導力の乖離」『アジア経済』55(3): 56-85.
- Aminudin, M. 2015. Urgensi pertegas Independensi NU (NUの独立性を明確にする緊急性), *Kompas* (28 Juli 2015).
- Barton, Greg and Fealy Greg eds. 1996. *Nahdlatul Ulama, Traditional Islam and Modernity in Indonesia*. Clayton: Monash Asia Institute.
- Bruinessen, Martin van. 1994. *NU: Tradisi, Relasi-relasi Kuasa, Pencarian Wacana Baru* [NUー伝統, 権力関係, 新しい言説の模索]. Yogyakarta: LKiS.
- Bush, Robin. 2009. *Nahdlatul Ulama and the Struggle for Power within Islam and Politics in Indonesia*. Singapore: ISEAS.
- Fealy, Greg. 2015. Politics and principle at the NU Congress, *Jakarta Post* (August 8, 2015).
- Masdar Farid Mas'udi. n.d. *Menyongsong Satu Abad NU 2026* [2026年NUの1世紀を迎える].
- Nadirsyah Hosen. 2015. Islam Ahwa dan Islam Nusantara: Catatan Pasca-Muktamar NU [AHWAのイスラームとインドネシアのイスラームーNU全国大会後記], *Gatra* (26 Agustus 2015): 60-61.
- Soeleiman Fadeli dan Muhammad Subhan, S.Sos. 2007. *Antologi NU: Sejarah Istilah Amaliyah Uswah* [NU選集ー歴史, 用語, 善行, 範例]. Surabaya: Khalisa.
- Tim Penulis NU Jawa Timur [東部ジャワ州NU執筆チーム]. 2010. *Melawan Intervensi dan Arogansi: Menegakkan Tertib Organisasi* [干渉と傲慢に抵抗するー組織秩序を確立させる]. Surabaya.

新聞・雑誌

Indo Pos

Jawa Pos

Kompas

Koran Sindo

Republika

Surya

Gatra

Tempo

インターネット

Antara <<http://www.antaranews.com>>

Duta Masyarakat <<http://duta.co/>>

Gatra <<http://www.gatra.com/>>

<<http://jatim.metrotvnews.com/>>

NU Online <www.nu.or.id>

Republika <<http://www.republika.co.id/>>

Tempo <<http://www.tempo.co/>> <<http://nasional.tempo.co/>>

<<http://news.okezone.com/>>